

1. 学びのまち犬山をめざして

人生を豊かにする。豊かさの質を高める！

誰もが、一度きりの人生を豊かなものにしたいと願っていますが、それを実現するためには、学びや遊びに対して、どれだけ意欲的になれるかが重要です。

人は、「自ら学び続ける」ことで、人生を豊かにするだけでなく、豊かさの質を高めることができます。

個性あふれる地域資源を活かす！

犬山市の豊かな自然や文化財などの個性あふれる地域資源は、私たちの感性を育くみ、「学び」にとって最良の教材であり、これらをひとつづくりに活かさない手はありません。地域資源に恵まれ、都心へのアクセスも良好な犬山市は、子どもを産み、育てるのに最適なまちです。

「ひとつづくり」を「まちづくり」の根幹に！

これからのまちづくりを支えるのは、地域の担い手にはじまり、わが国の強みである知恵と技術力を武器に、やがては、世界を舞台に活躍できる人材です。「まちづくり」は「ひとつづくり」の信念のもと、「ひとつづくり」を「まちづくり」の根幹に置き、各地域の特徴を活かした「犬山らしい」ひとつづくりを進めます。

担い手同士の連携プレーで取り組む！

市民一人ひとりが、生涯にわたって自ら学び続け、育ちの対象となるとともに、それぞれが、家庭、地域などにおいて教育の担い手となり、担い手同士の連携プレーにより、犬山市全体で「学びのまち犬山」実現をめざして取り組みます。

「暮らしたい」「訪れたいまち」まちへ！

市民自らが、地域の中で学び続けることによって、それぞれの地域の魅力を再認識し、愛着をもってまちづくりを推進することで、「教育のまち」が犬山市の求心力となり、市内に住む人が「ずっと暮らしていきたい」、市外の人が「訪れたい」、「ここで暮らしたい」と思えるまちになります。

基本理念(めざす方向性)

生涯にわたって自ら学び続けるひとつづくり

2. 基本理念の実現に向けて

本気で向きあう！

基本理念の実現に向けて、家庭や地域、教育委員会・市、学校・子ども未来園などの様々な主体が、担い手としての自覚を持ち、自らの役割を果たしつつ、お互いに連携・協力しながら取組みを推進していくことが重要です。

そのためには、それぞれの主体が、**本気で向きあう**必要があります。



